



小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人とかんきょう / 理解シート

かんきょうホルモンについて、教えて



**自然にばらまかれた農薬などが、生物の体のしくみをくわ
せることがあり、かんきょうホルモンといわれているのさ。**

ホルモンは、体のはたらきを調節する

動物の体内では、ほんのわずかな量でいろいろなはたらきをする、ホルモンとよばれるものがつくられています。カニのだっ皮や、こん虫がさなぎになったり、羽化するのには、ホルモンのはたらきがあるからです。ホルモンが出ないと、だっ皮や羽化はうまく行われず、カニやこん虫は、奇形きけいになったり死んだりします。

人間が大人になると、女の方は、赤ちゃんを産み育てることができる体になり、男の方も、男らしい体つきになるのは、体内のホルモンのはたらきによります。

かんきょうホルモンといわれている物は、生物の体内に入ると、まるでホルモンのようなはたらきをするので、こんな呼び方がされています。

かんきょうをよごす化学薬品が、かんきょうホルモンとよばれるものになる

最近さいじんは、大量ごうせいせんざいに使われる合成洗剤ごうせいせんざいやおけしょう品、プラスチックからとけ出す化学薬品、農薬さっちゅうざい、殺虫剤さっちゅうざい、これらが一部分解された物、ダイオキシンなどが、土の中、川や海の水中等にちらばっています。これらが、水中にすむ貝やこん虫などの小動物や、その小動物を食べる大きな動物の体内に入り、にせもののホルモンのようなはたらきをしてしまうことがあるのです。

米国フロリダ州の湖で見つかったワニは、近くの農薬工場から流れ出た薬品のため、大半のオスのおちんちんが小さくなりメスのようになっていました。日本でも、全国32地点で巻き貝のイボニシとレイシガイを調べたら、31地点でメスの貝がオスのような体になりかけているのが発見されました。こうなると子孫がふやせないため、ワニやイボニシは、絶めつするかもしれないのです。

人が作った薬品などをそのままですると、
こわいことがたくさん起きるんだね。



もっと知りたい人へ：「ダイオキシンって何、なぜさわがれているの」も見てみよう。